

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	一時預かり事業		担当部署	教育委員会 学校教育課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市立幼稚園における一時預かり事業の実施に関する条例及び施行規則 幼稚園教育要領		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	22年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)	学校教育					
施策	2	幼稚園教育の充実				
基本事業	6	預かり保育による子育て支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内の公立幼稚園のうち12幼稚園 土曜の預かり保育は5園						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	幼稚園教育要領に基づく保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に幼稚園施設を開放して預かり保育を実施することにより、園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	12園で預かり保育を実施するとともに、5園で土曜日の預かり保育を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		一時預かり受入率	100	100	100	100	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	12園で一時預かりを実施するとともに、5園で土曜日の一時預かりを実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 預かり保育実施園	12	12	12	12	12	園
	2 土曜預かり保育実施園	5	5	5	5	5	園
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	一時預かり受入率	100	100	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)	100.0		—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	13,045	13,045	0	69	13,046	39,205
		補正予算額	△ 8,595	△ 8,595	0	18,592	△ 8,595	△ 7,193
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	4,450	4,450	0	18,661	4,451	32,012
		決算額	4,341	4,341	0	17,805	4,344	30,831
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.3	0.0		2,140		32,971	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	31,199	30,831	40,573	40,573	40,573
	うち一般財源	0	4,344	4,654	4,654	4,654
	人件費	2,058	2,140	2,140	2,140	2,140
	総事業費	33,257	32,971	42,713	42,713	42,713

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	家庭的な環境において、在園児の遊びや異年齢交流の場を提供し、保護者の子育て等を支援した。
	効率性	A:効率的だった	保護者の意向を尊重し、施設や人員をやり繰りしながら希望園で受入を行った。
②成果に対する評価	指標名	一時預かり受入率	12園で預かり保育を実施するとともに、5園で土曜日の預かり保育を実施し、希望者が全員利用できる体制を維持した。
	目標	100 %	
	実績	100 %	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>B</b>	担当職員の配置については、計画通りの配置ができなかったが、希望者が全員利用できる体制は維持できた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	他市町村においても、幼稚園の臨時職員については人員確保に苦慮している状態である。本市においても、定期的に勤務条件の改善を行っているが、預かり保育担当職員含む幼稚園の臨時職員について、継続的に優秀な人員を確保することが課題となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	引き続き、12園で一時預かりを実施するとともに、5園で土曜日の一時預かりを実施し、希望者全員が利用できる体制を整える。また、一時預かりを円滑に実施するため担当職員の適正な人材確保を目指す。			
	H30年度	継続実施。			